

# 社会教育施設のあり方 「市民会館」 将来ビジョン



令和3年11月  
蒲郡市教育委員会 生涯学習課



# 目次

第1章 将来ビジョン策定の背景と目的	1
第2章 市民会館の現状・課題の整理	
(1) 施設の概要	1
(2) 運営形態	3
(3) 運営の特徴・強み	3
(4) 利用状況から分かる現状と課題	5
(5) 建物・設備面の状況と課題分析	6
(6) 施設利用面に関する課題	7
第3章 市民会館に求められる市民ニーズ	
(1) 市民意識調査	8
(2) 社会教育施設アンケート	9
(3) 市民・利用者のご意見（グループヒアリング）	14
(4) 市民ニーズの分析・整理	15
第4章 市民会館の「目指すべき姿」	18
第5章 目指すべき姿の実現に向けて	19

## 第1章 将来ビジョン策定の背景と目的

市民会館は、幅広く文化活動の振興に努め、薫り高い特色ある市民文化の創造を図り、優れた芸術・文化にふれる機会や場を提供するとともに、市民の多様で自主的な文化活動の支援や人材育成を目的として昭和48年に設置され、まもなく築50年を迎える。これまでに大規模改修をせずに修繕を積み重ねて管理運営をしてきたが、施設全体において老朽化が進み、また平成26年度の耐震診断で、大ホールにおいて耐震性能が若干不足している状況だということがわかっており、市民会館の整備を行っていくことが必要である。

一方、国においては平成24年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を制定し、劇場・音楽堂等の活性化を通じ、心豊かな国民生活や活力ある地域社会の実現を目指すとし、平成29年度に文化芸術振興基本法の一部を改正する法律において、文化芸術の振興にとどまらず、観光やまちづくり等その他分野も取り込み、また文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用しようとしている。

県においても、平成30年度に「愛知県文化芸術振興条例」を定め、同年に「あいち文化芸術振興計画2022」を策定し、「文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知を実現」を目指すべき姿としている。

本市においては、令和3年度末に策定予定の「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」を生涯学習推進計画とともに「文化芸術推進計画」としても位置付け、生涯学習と文化芸術の推進によるまちづくりの基本的方向を示すこととなっている。

以上のように、文化行政においては、今までの文化芸術振興という役割に加え、まちづくりや地域社会の活力になるという新たな役割が求められてきている。また、さらに進んでいく少子高齢化や人生100年時代に向けた社会状況の変化、急激な技術革新に伴うDX(デジタルトランスフォーメーション)の広がりについても対応していくことが必要である。そこで、これらの状況を鑑みたニーズにあった施設整備・事業展開を行うために、市民会館のあり方を策定する。

## 第2章 市民会館の現状・課題の整理

### (1)施設の概要

蒲郡市民会館は、大・中ホールのあるホール棟と事務所や会議室のある管理棟が昭和48年に竣工し、翌昭和49年に三興庵(茶室)を、昭和55年には大ホール側の楽屋を増設。平成4年には東ホール棟を増築している。蒲郡市の文化活動の拠点として市民や文化団体に親しまれる施設として長年利用されているが、施設の老朽化が進んでいる。

	建築面積	延床面積	竣工
管理棟・ホール棟	6,089.31 m <sup>2</sup>	11,136.78 m <sup>2</sup>	昭和48年11月
茶室	82.26 m <sup>2</sup>	69.56 m <sup>2</sup>	昭和49年10月
東ホール棟	1,330.02 m <sup>2</sup>	2,026.47 m <sup>2</sup>	平成4年3月
合計	7,501.59 m <sup>2</sup>	13,232.81 m <sup>2</sup>	

※市民会館全敷地面積 24,240 m<sup>2</sup>

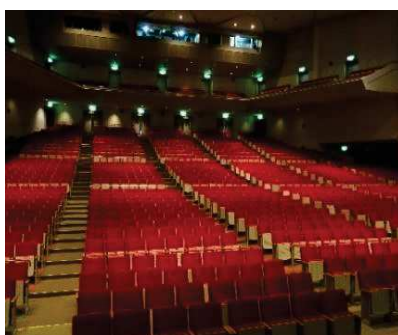
(建物の詳細)

【大ホール】プロセニウム形式(劇場型多目的ホール) 収容定員:1,598席 (1・2階:1,364席、3階:234席、車イス席8席含む) 舞台 間口:15m 高さ:10m 奥行:14m			
【中ホール】プロセニウム形式(劇場型多目的ホール) 収容定員:516席 (車イス席8席含む) 舞台 間口:15m 高さ:6.5m 奥行:7m			
大ホール主催者控室 (5名掛け応接セット)	20.56 m <sup>2</sup>	中ホール主催者控室 (5名掛け応接セット)	15.50 m <sup>2</sup>
楽屋6(和室)	22.43 m <sup>2</sup>	楽屋1(洋室)	16.50 m <sup>2</sup>
楽屋7(和室)	31.34 m <sup>2</sup>	楽屋2(洋室)	16.45 m <sup>2</sup>
楽屋8(洋室)	37.95 m <sup>2</sup>	楽屋3(洋室)	16.45 m <sup>2</sup>
楽屋9(洋室)	37.95 m <sup>2</sup>	楽屋4(和室)	16.45 m <sup>2</sup>
※別ピアノ保管庫有		楽屋5(和室)	16.45 m <sup>2</sup>
※大・中ホール兼用			
リハーサル室1	51.10 m <sup>2</sup>		
リハーサル室2	76.70 m <sup>2</sup>		

【管理棟】 地下1階:708.75 m <sup>2</sup> 1階:1,087.97 m <sup>2</sup> 2階:1,212.97 m <sup>2</sup> 3階:33.12 m <sup>2</sup> プール:32.40 m <sup>2</sup> 車庫:33.06 m <sup>2</sup>					
(1階)施設名	面積	収容人員	(2階)施設名	面積	収容人員
大会議室	206.00 m <sup>2</sup>	120人	会議室1	161.00 m <sup>2</sup>	80人
中会議室	81.90 m <sup>2</sup>	54人	会議室2	144.00 m <sup>2</sup>	70人
			会議室3	161.00 m <sup>2</sup>	80人
			音楽室	49.00 m <sup>2</sup>	30人
			レストラン	237.00 m <sup>2</sup>	88席



市民会館 外観



大ホール



中ホール

【東棟】					
※東ホール： 全面使用時 518 m <sup>2</sup> 定員 315 人(東西方向 28m×南北方向 19m)					
半面使用時 名称:東ホール1(西側)255 m <sup>2</sup> 定員 150 人					
名称:東ホール2(東側)255 m <sup>2</sup> 定員 150 人					
(東西方向 14m×南北方向 19m)					
1階)施設名	面積	収容人員	2階)施設名	面積	収容人員
東会議室	111.00 m <sup>2</sup>	32 人	東ホール	518.00 m <sup>2</sup>	315 人
※別応接室有			談話室	65.00 m <sup>2</sup>	12 人
※展示ロビー有					
【その他】					
展示場 1: パブリックロビー 363.00 m <sup>2</sup>					
展示場 2: 屋外高床広場 1,000.00 m <sup>2</sup>					
駐車場: 484台					
・東南駐車場・西駐車場(博物館共用)329台					
・臨時駐車場(博物館西)80台 ・商工会議所横75台					



東ホール



屋外高床広場

## (2) 運営形態

平成18年度から指定管理者制度を導入している。現在の指定管理期間は平成31年度から令和3年度までの3年間。なお、その前の期は指定管理期間を5年としていたが、大規模改修工事に向けた検討がされており、指定管理期間中に工事期間が入る可能性があったことから、指定管理期間を3年に縮めている。令和4年度からの指定管理期間は5年としている。また、会館使用料については、市の歳入となる使用料制となっている。

## (3) 運営の特徴・強み

### ① 多様な設備・機能

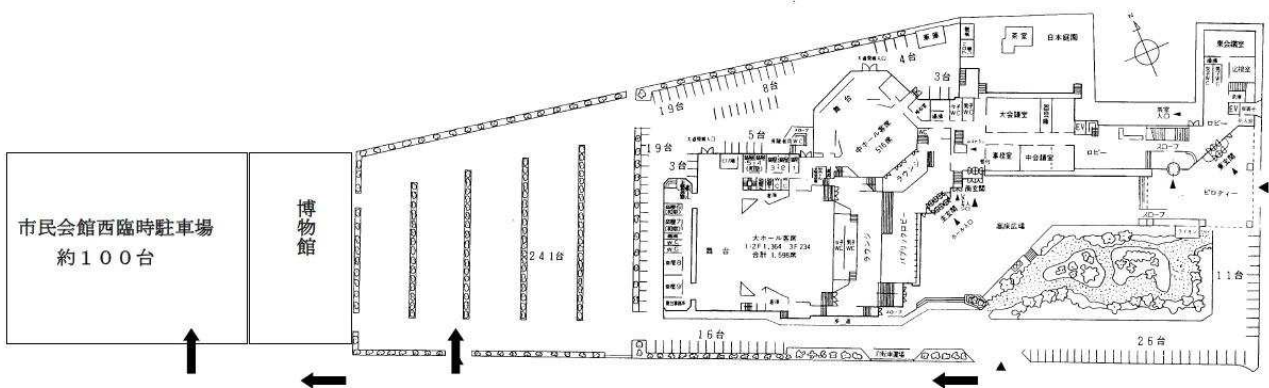
市民会館には、県内でも有数の収容人数を誇る約 1,600席の大ホールと約500席の中ホールがあり、市内の他施設にはこれほどの規模を持つホールはない。そのため、ここでしかできないコンサートなどの催事を行うことができ、市内の他施設と競合しない。

また、複数の会議室を擁し、各イベント、会議の規模に応じて多目的に利用することができる。さらに音楽室や茶室といった施設もあり、これらの施設も市民会館でしかできない学習の機会を提供している。

② 利便性の高い立地

JR・名鉄蒲郡駅から南西徒歩5分の立地にあり、電車を主な移動手段とする学生や高齢者、市外の利用者が容易に来ることができる。また、駐車場の数も500台近く確保されており、車によるアクセスも良い。蒲郡まつりなど市の大型イベントでは市民会館がメイン会場として利用されている。

また、施設が南側に面し開放的な雰囲気であり、2階から海を望むことができるなどロケーションが良い。



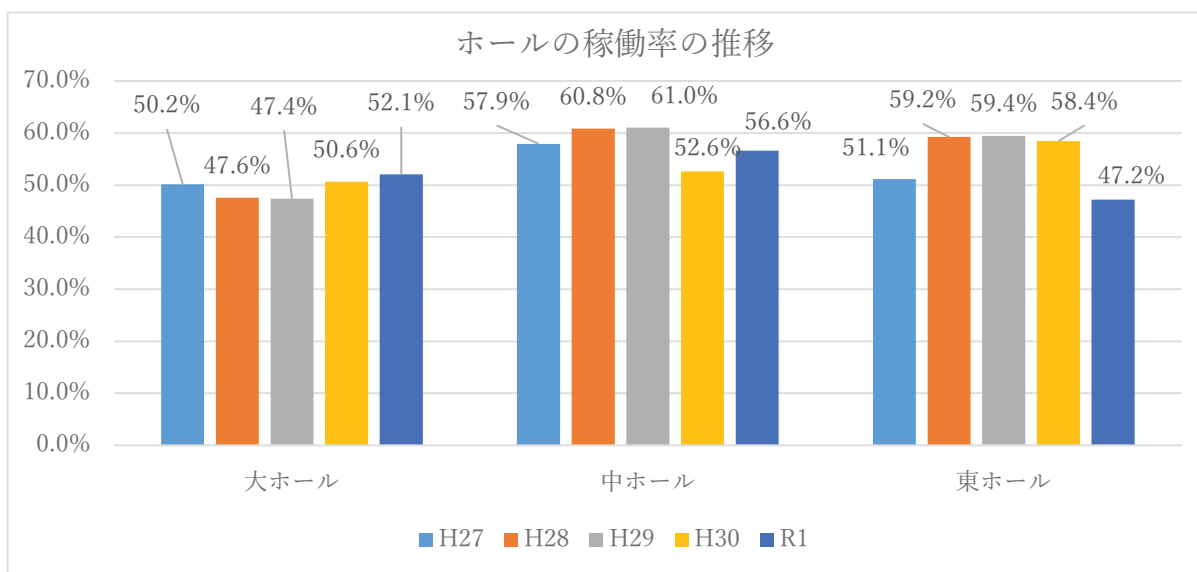
市民会館平面図



市民会館周辺図

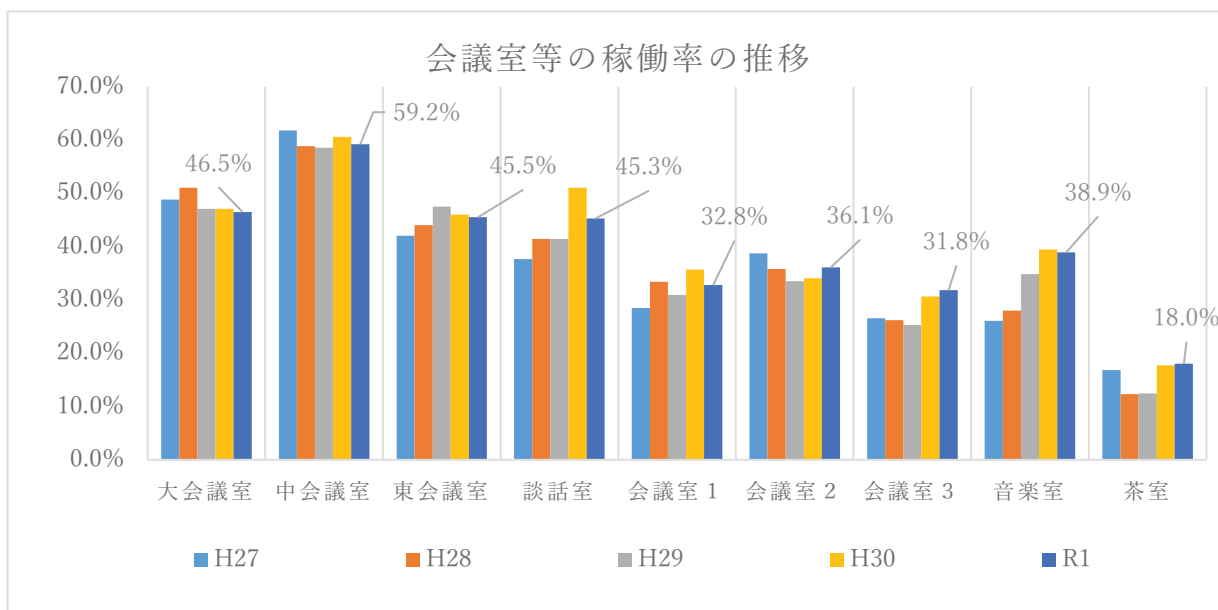
#### (4) 利用状況から分かる現状と課題

##### ① 稼働率



※ホールの稼働率は日単位数による

ホールの稼働状況としては50～60%ほどの稼働状況である。公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」において平成30年度のホール稼働率の全国平均は72.5%であり、全国平均より低い稼働状況にある。



※会議室の稼働率は利用区分単位数(1日3区分)による

※グラフ上の数値はR1のもの

会議室等の稼働率としては、面積が小さく使用料が安い「中会議室」の利用が一番多く、会議室1～3は稼働率が30%代と低い状況にある。会議室1～3は2階にあり、面積も大きいいため使用料が割高ということが影響している可能性がある。

音楽室はリピーターに加え、新規利用者も増えていることから年々稼働率が上がっている。茶室の稼働状況は毎年大きな変動がなく、一定の利用者に留まっている。



② 使用料免除による利用状況

各施設における令和元年度の使用料免除での利用割合は以下のとおりである。

大ホール	中ホール	東ホール	大会議室	中会議室	東会議室
73.0%	61.8%	72.9%	51.9%	30.7%	48.1%

談話室	会議室1	会議室2	会議室3	音楽室	茶室
45.5%	59.3%	57.3%	61.1%	23.2%	66.7%

市が主催や共催などで施設を利用する場合は免除利用となる。大ホールや東ホールについては免除利用が70%を超えている。全体的に大きい部屋ほど免除利用が多い状況である。

③ 利用状況における課題

以上のことから、現状をまとめると次のとおりになる。

- ア ホールの利用率は全国平均を下回っている。
  - イ 会議室は、場所と利用料により、稼働率に差がある。
  - ウ 音楽室の需要は増えているが、茶室は一定の利用者が使うに留まっている。
  - エ 市が主催または共催で利用することが多く、ホールと会議室ともに使用料免除の割合が高い。音楽室や中会議室は使用料免除の割合が低い。
- 公共での利用や一定の利用者による利用が多いため、いかに新規の利用者を増やすかが課題となる。

(5) 建物・設備面の状況と課題分析

- ・施設、設備の老朽化が進んでおり、平成 26 年度実施の耐震診断では、大ホールの耐震不足が指摘されている。またコンクリートの中性化や塩害化などもあることから、今後施設の大規模改修や建替えの検討が必要である。

	大ホール	中ホール	会議室棟	楽屋棟
Is 値	0.51	0.61	0.69	2.07

※IS 値とは建物の耐震性能を表すための指標。IS 値が 0.6 以上の建物であれば、震度6～7程度の地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い。0.6 以下の指標については以下のとおり。  
 IS 値0.3以上…地震の振動及び衝撃に対して崩壊、又は崩壊する危険性がある。  
 0.3未満…地震の振動及び衝撃に対して崩壊、又は崩壊する危険性が高い。

- ・施設内の動線がわかりにくい、車いす利用者や高齢者が利用しやすいスロープ等のバリアフリー設備が不足しており、一部の方が使いにくい施設である。バリアフリー設備の充  
 実等多様な人が使いやすいように設備の改修を行う必要がある。
- ・大ホール1598席、中ホール516席という客席数は人口 8 万人ほどの本市としては、近隣と比較しても過大であり、客席数の見直しも必要である。
- ・廊下やロビーなどは、近年建設されている施設のような解放感や明るさなどが少なく、古さを感じ、暗い雰囲気がある。今後は、明るく開放的なイメージをもたれる施設にして

いく必要がある。

- ・会議室棟の会議室の多くは、結婚式場として利用されていた部屋を利用しているため、披露宴会場当時のシャンデリアや絨毯が使用されており、1部屋あたりの面積も大きな部屋が多い。一方、稼働率が高い中会議室は、面積も小さく一般的な会議室と同様の仕様であり、利用が集中する。明るく利用しやすい規模の会議室が望まれる。

## (6)施設利用面に関する課題

### ① 施設利用(主催者利用)における課題

施設利用者(主催者)からの意見<sup>※</sup>として、「大・中ホール間での遮音性が低い」、「音響環境が悪い」、「中ホール舞台が狭い。舞台裏の通路が狭く通りづらい」、「搬入口に屋根や階段がない」、「スタインウェイのピアノが大ホールから中ホールへ移動できない」、「大ホール楽屋から事務所へ観客に合わずに行くことができない」など、催事の運営に支障がでるものであり、改善が必要である。

### ② 観客利用における課題

「座席が固く、幅も狭いため快適性が悪い」、「大ホール、中ホールのロビーがつながっているため動線がわかりづらい」、「親子室(席)がない」などの快適性に欠ける意見<sup>※</sup>があった。

※「蒲郡市民会館ホール棟改修検討会議(令和元年度実施)」での意見。市民会館の指定管理者、文化協会、吹奏楽団、商工会議所、身体障害者福祉協会の代表が参加。

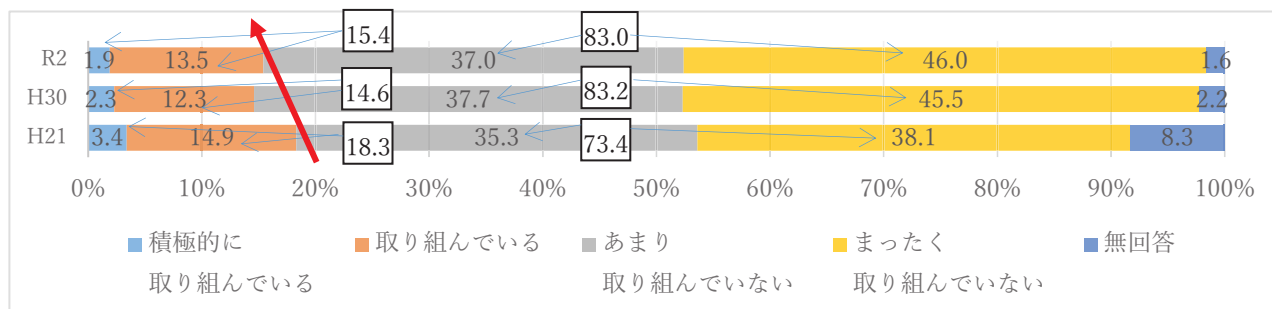
### 第3章 市民会館に求められる市民ニーズ

#### (1) 市民意識調査

※市民意識調査は蒲都市総合計画の取り組みについて市民から評価を受けるとともに意見を伺い、現在の生活環境や今後のまちづくりに活かすことを目的として実施されているもの。直近では平成21年、平成30年、令和2年に実施されている。

#### ■生涯学習と文化芸術の現状

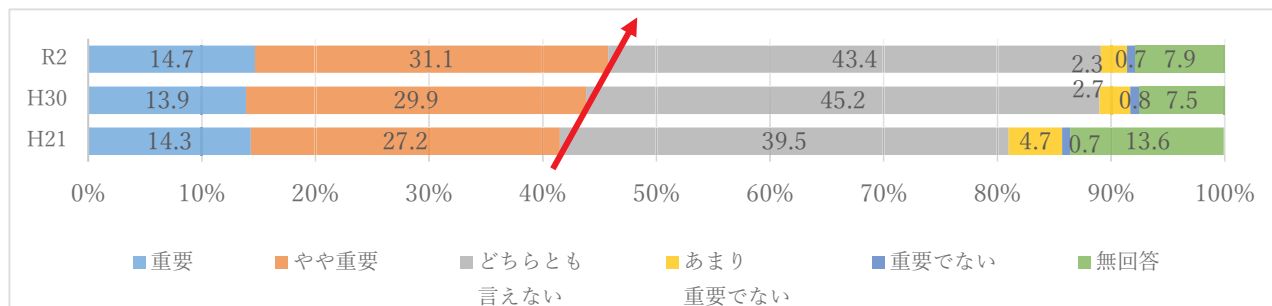
##### ●生涯学習活動や文化活動の取り組み状況



生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる人は、平成21年から10年経った令和2年において微減している。まったく取り組んでいないが割合としては一番多く、あまり取り組んでないと合わせると80%を超えている。

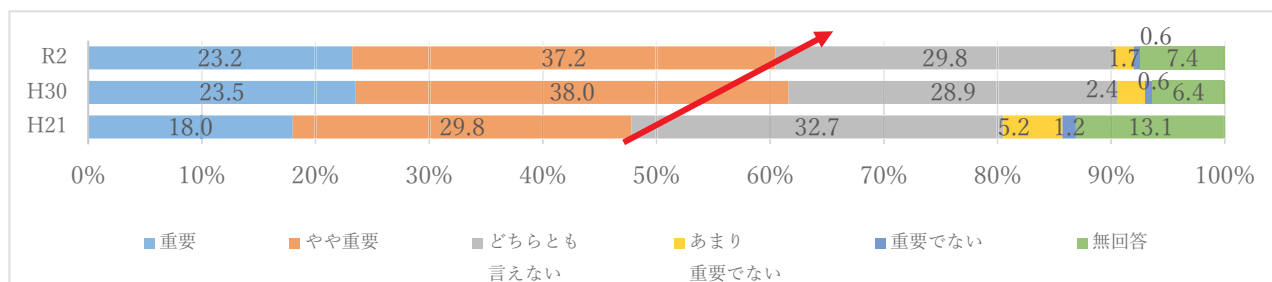
#### ■重要度

##### ●生涯学習活動



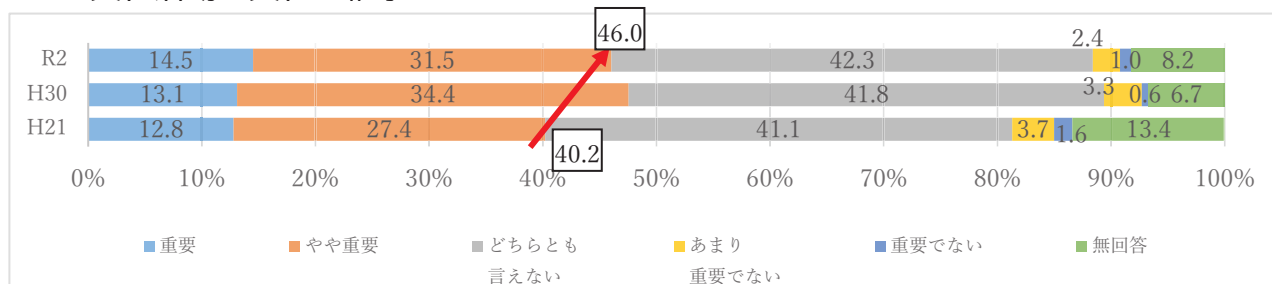
生涯学習活動の重要度においては、重要とやや重要を合わせると平成21年から令和2年の10年間で増加してきている。重要でないは少数である。どちらとも言えないと無回答を合わせると50%を超えている。

##### ●図書館、ホールなどの施設の整備



図書館やホールなど施設の整備については平成21年から令和2年の10年間で12.6ポイント増加している。

●文化活動や文化の継承



文化活動や文化の継承においては、平成21年から重要、やや重要と思っている人は増加している。また、重要ではないと思っている人は少ない。どちらとも言えない無回答を合わせると50%ほどの状況である。

以上のことから、市民の生涯学習活動や文化活動については、次のことが分かる。

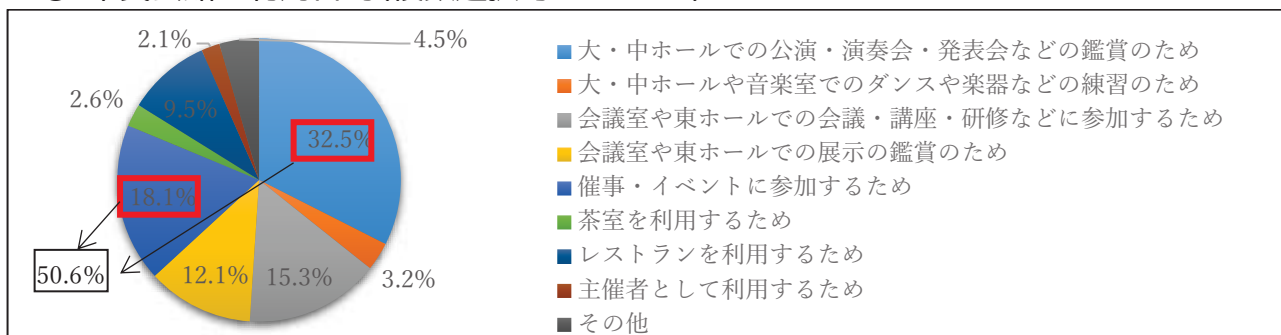
- ① 重要と思っていない人は少なく、この10年間で重要と思っている人は増えている。
- ② 生涯学習活動を実際に取り組んでいる人は減少している状況である。
- ③ 施設整備についても重要度が上がっていることから、現状の施設については、大規模改修や建て替え等が望まれている。

(2)社会教育施設アンケート

市民ニーズを把握する一環として、下記のとおり市民アンケートを実施した。

調査対象者 蒲郡市民から1,500人を無作為抽出  
 調査方法 郵送により調査票を送付  
 調査実施期間 令和2年12月23日から令和3年1月14日まで  
 回収数及び率 602件(40.1%)

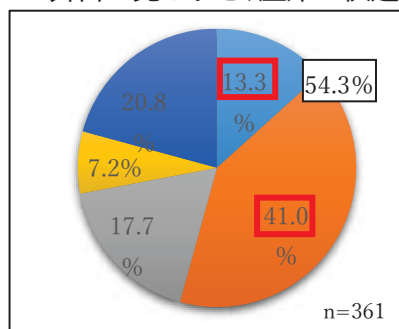
① 市民会館の利用目的(複数選択可 n=619)



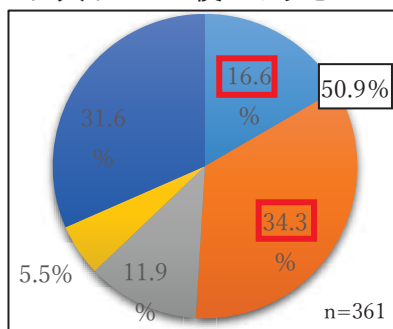
市民会館を利用する目的として1番多かったのが「大・中ホールでの講演・演奏会・発表会などの鑑賞」で全体の32.5%を占めている。次いで「催事・イベント」が18.1%となっており、この2つで市民会館の利用目的の全体の51%と半数を超えている。つまり、多人数が参加するような催事で利用する方が多いと言える。なお、練習のための利用は3.2%と少ない状況にある。

② 大・中ホール満足度(市民会館を利用したことがある人)

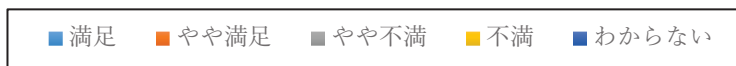
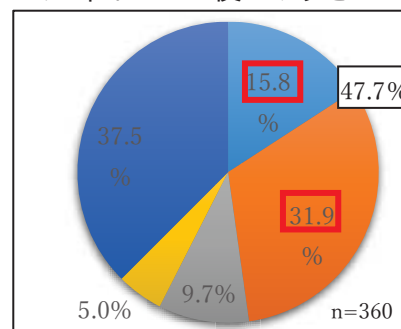
ア 舞台の見やすさ、座席の快適性



イ 大ホールの使いやすさ



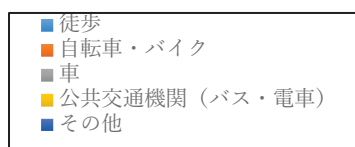
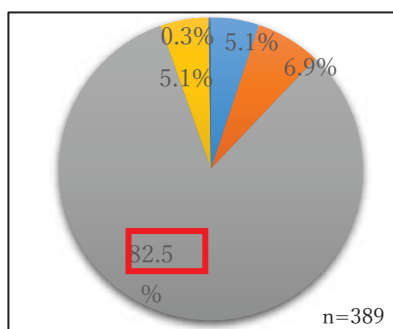
ウ 中ホールの使いやすさ



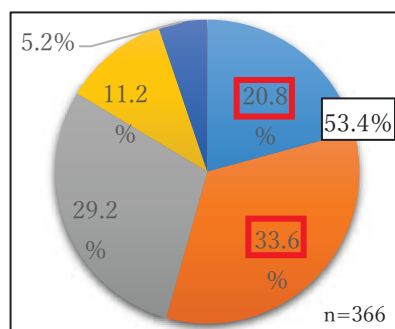
大ホール、中ホールの満足度は「満足、やや満足」を合わせると50%ほどであり、不満と感じている人より高い割合である。

③ 交通の満足度(市民会館を利用したことがある人)

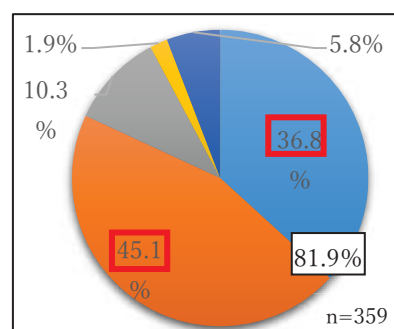
ア 主な交通手段



イ 駐車場の広さ



ウ 交通の便の良さ



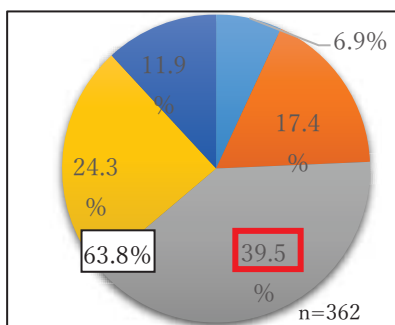
市民会館までの交通手段としては、「車」が82.5%であり、ほとんどの市民が車で来ていることがわかる。駐車場の広さとしては「満足・やや満足」で53.4%と半数以上の方は現在の駐車場の広さで満足している。

交通の便の良さとしては、「満足・やや満足」を合わせて81.9%と市民も立地の良さを感じていることが分かる。

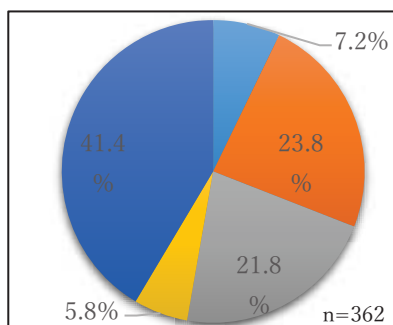


④その他施設の満足度(市民会館を利用したことがある人)

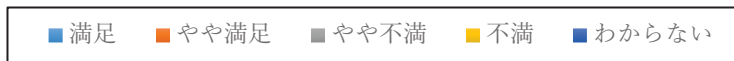
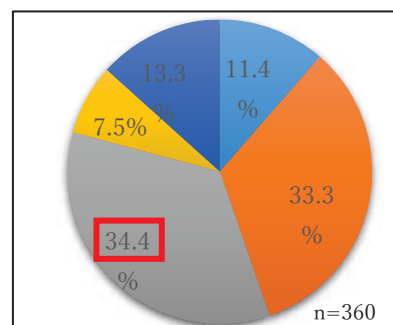
ア トイレの快適性・清潔感



イ バリアフリー対応



ウ 館内の明るさなどの雰囲気



トイレや館内の雰囲気については、「やや不満」が一番多い回答となっている。とくにトイレについては「不満・やや不満」を合わせると63.8%と半数を上回っており、平成30年度、令和元年度に大・中ホール、会議室棟のトイレ洋式化を実施したが、まだ満足度は高い状態にはなっていないことが分かる。

⑤市民会館に望む役割・サービス(3つまで)(n=1,492)



市民会館に望む役割・サービスとして「優れた文化芸術を鑑賞する場」が最も多く22.6%で、次いで、「講演会やシンポジウム等で知識を習得する場」が16.0%であった。このことから、市民会館は大ホールと中ホールのホール利用を想定した役割が強く出ていることがわかる。

市民会館を利用したことがない人と利用したことがある人が市民会館に望む役割・サービス

	未利用者 n=517	利用者 n=975	未利用者と 利用者の差
市民が優れた文化芸術を鑑賞する場	19.5%	24.2%	-4.7
市民が文化芸術活動を発表する場	13.3%	16.8%	-3.5
市民が講演会やシンポジウム等で知識を習得する場	14.7%	16.8%	-2.1
市民が気軽に集まり交流やくつろぎを得ることができる場	16.8%	11.9%	4.9
市民が自主的な活動や練習、学びを行うことができる場	9.3%	10.5%	-1.2
市外の人も多く集いにぎわう場	6.0%	6.4%	-0.4
災害等が発生した場合の避難場所	19.7%	13.2%	6.5
その他	0.6%	0.2%	0.4

また、そのうち市民会館を利用したことがない市民に着目すると、「災害等が発生した場合の避難場所」としての役割が一番高く、次いで 0.2 ポイントの差で「市民が優れた文化芸術を鑑賞する場」となっている。また、「市民が気軽に集まり交流やくつろぎを得ることができる場」が 3 番目となっている。利用したことがない市民としては、文化芸術を鑑賞する場に加え避難場所および気軽に集まれる場所という点を望んでいる。

⑥市民会館を利用しなかった理由(n=226)



市民会館を利用しなかった理由として「どのような催しを行っているのかわからない」が最も多く 58.4%である。その他の理由としての多くが「行く用事がない」「利用したい催事がない」というものであった。

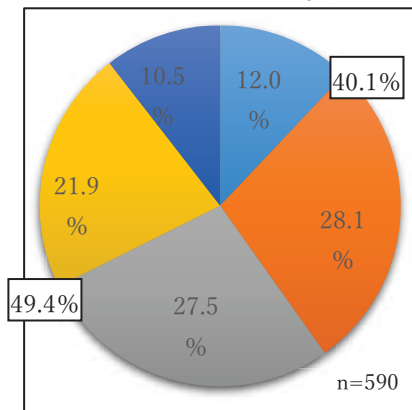
⑦市民会館の立地の要件(n=613)



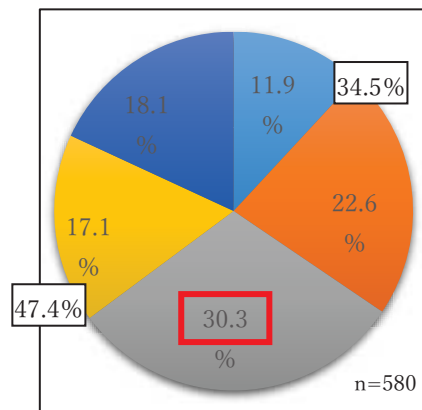
立地の要件としては、「公共交通機関でのアクセスのしやすさ」が 32.5%と 1 番多く、次いで「広い駐車場がある」で 29.7%となっている。現在の市民会館の立地としては、交通の便の満足度も高く、駐車場の広さも一定数確保されていることから、市民会館の現在の立地場所としては、適当な場所であると言える。しかし、市民会館の場所は高潮浸水区域内(駐車場の一部は津波浸水区域)であるため災害対策は必要である。

⑧市民会館に対する気持ち

ア 市民会館への愛着



イ 市民会館の今の姿を残していきたいと思うか



現在の市民会館に対する気持ちとして、愛着については、「少し持っている」の回答が最も多く28.1%であるが、「あまり持っていない」と「持っていない」の合計と「持っている」と「少し持っている」の合計を比べると、「あまり持っていない」と「持っていない」の合計の方が9.3ポイント多い。また、市民会館の今の姿を残したいという質問に対して「あまり思わない」の回答が最も多く30.3%であり、「思わない」「あまり思わない」の合計と「そう思う」「ややそう思う」の合計を比べると、「あまり思わない」「思わない」の合計の方が12.9ポイント多い。



### (3)市民・利用者のご意見(グループヒアリング)

市民・利用者の市民会館に対するニーズ、想いを把握するため、『社会教育施設についてのグループヒアリング』を開催した。

#### ① 開催概要

市民会館をはじめ、図書館、生命の海科学館、博物館を含む4つの社会教育施設についてどのような体験をしたいか、またどのような施設にしていきたいか、それを実現させるためのアイデアについて、参加者に対して、グループヒアリングを実施した。

日にち:令和3年8月28日(土)、29日(日) オンライン開催

参加グループ(人):公募グループ(20)・施設利用者グループ(30)、

若者議会(※)グループ(17)、中学・高校・大学生グループ(32)

※若者議会とは、蒲郡青年会議所のメンバーにより設立され、未来の蒲郡を担う若い世代がまちについて学び、語り、発信していく機会づくりを目的とし、若い世代の力を活かしまちづくり政策を検討していく機関

#### ② ご意見

##### ○現在の市民会館の建物や設備について

- ・大ホール・中ホールや会議室は、規模が大きすぎて使い勝手がよくない。利活用を考慮し、小さい規模のホールや部屋が良いのではないか。
- ・分かりやすい動線、高齢者や障がい者のバリアフリー環境、子育て世代の利用環境を整えて、多様な人が使いやすい施設にしてほしい。
- ・音響設備、Wi-Fi 環境など、施設を利用する上で、今のニーズにあった設備や環境を整えてほしい。
- ・今の立地は駅から近く、駐車場もある程度確保できているため、利便性がよい。ただし、閉鎖的で暗い雰囲気があるため、おしゃれで明るい感じの建物にしてイメージを変えてほしい。
- ・施設の老朽化が進み、利用の制約があるにも関わらず、利用料金が高いように感じる。貸出の料金設定・仕組みも柔軟に検討してほしい。
- ・未利用時の空間やスペースを有効活用できるように、様々な工夫を検討し、市民活動に活かしてほしい。

##### ○市民会館での「イベント」や「催し」について

- ・ワークショップや体験会、勉強会、職業体験など多様なイベント・活動をしたい。近くの科学館と連携した体験イベントを開催するのもよい。
- ・広いスペースの敷地・屋外空間などを活用して、様々なイベントやお祭りを開催することで賑わいを生む。
- ・ホールなど屋内施設で、コンサート・ライブなどの音楽関連イベントやこれまで行ってない多様な催しを開催してほしい。
- ・施設利用やイベントの情報が入ってこないため、市民の認知度があまり高くない。情報が入れば利用する機会が増えるのではないか。

○市民会館に求める新たな機能

・蒲郡には映画館がないため、市民会館にシアター機能を取り入れ、映画等の上映をすれば多くの市民で賑わうはず。

○蒲郡市の「文化」・「まちづくり」の拠点としての役割

・音楽の練習場として中高生など若者が集まる場所にするなど、市内の文化活動や交流の拠点にしたい。

・立地条件も良いため、様々な機能・施設と融合する。日常的に立ち寄り、愛着があり、蒲郡市の文化・まちづくりの拠点施設となしてほしい。

③ まとめ

ヒアリングでは、「文化・音楽・まちづくりの拠点」として、機能の向上、改善を求めるご意見が多く出ていた。例えば、「ホール棟の規模については、蒲郡の規模から考えるとやや大きすぎで、使い勝手に課題がある。」、「音響や座席など設備面の老朽化が顕著であり、現在の利用ニーズに合っていない。」、「ワークショップなど多様な「体験」ができる場所、日常的な音楽の練習拠点となると良い。」、「イメージが暗いため、明るい雰囲気・もっとおしゃれな空間であると良い。」などで、今後施設の維持・更新を行う上で参考となる、市民・利用者のご意見を確認できた。

現在の「文化・音楽の拠点」としての機能の向上・改善に加えて、目的がなくても、利用できる居心地の良い居場所のような施設、映画館機能のように日常に気軽に楽しめる施設を求める意見も多かった。また、施設や催事に関して認知度・発信力といった課題についても、意見が出された。

(4) 市民ニーズの分析・整理

(1)～(3)の結果・ご意見を踏まえ、市民ニーズを分析し、下記のとおり整理する。

市民の生涯学習・文化芸術の活動

状況	・市民意識調査では、生涯学習・文化芸術の重要性は10年前から若干高まっている。 ・生涯学習活動をしている市民は10年前から減っており、令和2年度は約15%である。
考察	➡生涯学習情報などの発信力の強化や参加したいと思う催事の開催が必要である。 ➡生涯学習・文化芸術活動・発表ができる場所の整備や利用方法等の見直しをする。

市民会館の利用目的・望むこと

状況	・現在、ホールでの講演・演奏会・発表会等の鑑賞が利用目的として一番多い。 ・今後、市民会館に望む姿でも優れた文化芸術を鑑賞する場、講演や市民の発表会が多い。 ・音楽活動の発表や練習が気軽にでき、若者が集まる場所、文化活動や交流の拠点にしたい。
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡演奏会・講演・発表会ができる施設(ホール)を今後も設置する。</li> <li>➡利活用しやすい規模のホールや多目的ホールを設置する。</li> <li>➡学生をはじめ音楽活動者が利用できる音楽施設や練習、情報交換できるスペースを設ける。</li> <li>➡満足度が高まるような施設へ改修する。</li> </ul>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 市民会館の利用目的・望むこと(市民会館の未利用者)

状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「優れた文化芸術を鑑賞する場」に加え、「市民が気軽に集まり交流やくつろぎを得ることができ場」を望む声も多い。</li> <li>・ワークショップや勉強会など多様なイベントに参加・活動がしたい。</li> <li>・広いスペースの敷地・屋外空間を利用した多様なイベントを開催してほしい。</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡市民が気軽に利用することができる新たな機能が必要である。</li> <li>➡ワークショップや講座など活発に催しが開かれ、未利用の空間も気軽に使用できる、使い勝手の良い明るい部屋・スペースが必要である。</li> <li>➡広い敷地・屋外空間を利用した多様なイベントができるエリアが必要である。</li> </ul>

### 市民会館の利用目的・望むこと(市民会館の未利用者)

状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用したことがない理由は、「何をしているかわからない」、「行く用事がない」、「参加したい催事がない」という理由が多い。</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡多様なイベント・催し物を誘致するため、民間企業等への積極的なPRを実施する。また利用促進のための施設整備をする。</li> <li>➡広報やチラシのみに限らず、SNSなど多様なメディアを活用した情報発信力を強化する。市内で行われるワークショップ、講座の開催情報を集約、発信できるターミナルの役割を果たすシステムを構築する。</li> </ul>

### 市民会館の施設・設備

状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査では、図書館やホールなど施設整備の重要度が10年前より高まっている。</li> <li>・市民アンケートでは、施設の明るさ、トイレ、バリアフリー設備に対する不満度が高い。</li> <li>・グループヒアリングでは、規模が大きすぎるため、バリアフリー環境や子育て世代に配慮した利用環境の整備、音響設備・Wi-Fi環境などに不満を感じる人が多い。</li> <li>・閉鎖的で暗い雰囲気がある、施設が老朽化しているにも関わらず、利用料金が高い。</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡現在の施設を大規模改修、建て替えをすることにより魅力的な施設とする。</li> <li>➡大中ホールや貸部屋の規模、利用料金の見直しを検討する。</li> <li>➡多様な人が使える施設、利用者のニーズを満たす設備の設置を目指す。</li> <li>➡未利用時の空間を、市民が使えるように施設・利用方法等を検討する。</li> </ul>

市民会館の立地・アクセス	
状況	・市民アンケートでは、立地の要件として公共交通機関でのアクセスの良さ、広い駐車場を求めている。災害時のリスクが少ない場所を要件とする意見も約2割程度ある。
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡現在の駅前という立地と駐車スペースを今後も活かす。</li> <li>➡防災・減災に向けた配慮・取り組みが必要である。</li> </ul>

市民会館の満足度・愛着	
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールは一定の満足度はあるが、施設の明るさ、トイレなどは不満度が高い。</li> <li>・愛着や今の姿をそのまま残したいと思っている人より思っていない人の方が多い。</li> <li>・日常的に立ち寄り、愛着があり、文化・まちづくりの拠点となってほしい。</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡現在の施設を大規模改修、建て替えをすることにより魅力的な施設とする。</li> <li>➡市民の憩いのスペースや若者が活動できる場所、文化活動サークルの交流エリアを配置する。</li> </ul>

市民会館に望む役割・機能	
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海が見える立地を活かして、カフェなどくつろげる、おしゃべり、交流できる場がほしい。</li> <li>・市民会館、公民館、児童館など他の施設の機能と融合する、また映画館機能のように日常的に気軽に楽しめる機能を追加してほしい。</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡「楽しみ」「くつろぎ」が生まれる空間となるような施設整備や多様な取組が重要である。</li> <li>➡多世代が気軽に利用することができる施設にするための「子育て・児童向け機能」を追加する。また、市民の自主的・自発的な学習活動を支えるため、「市民の学び」「市民の交流」をコーディネートする「中央公民館機能」を包含した「生涯学習センター」を新たに設置する。生涯学習センターを中心に、文化芸術活動の活性化や多様な講座の実施、活動の成果発表など、更なる生涯学習推進のための主体的な取り組み・工夫をしていく。</li> </ul>

## 第4章 市民会館の「目指すべき姿」

市民会館は、市民の文化の向上および福祉の増進を図ることを目的に文化活動の拠点としての機能を目指し、また蒲郡市吹奏楽団、蒲郡市ジュニア吹奏楽団、蒲郡市シニア吹奏楽団の3つの吹奏楽団や蒲郡フィルハーモニー管弦楽団、蒲郡市文化協会などいろいろな団体が音楽活動を行っている「音楽のまち蒲郡」の中心の場所となっている。

ホールという大規模収容できる施設の特徴を活かし、今までの蒲郡市の文化芸術を支え、育んできた「音楽のまち蒲郡」の流れを継承しつつ、前述のような状況を踏まえ、以下を市民会館の目指す姿とする。

**市民が自主的かつ自発的に文化・教養の向上を図り、  
「新たな交流」と「賑わいの創出」拠点となる施設  
～「市民の居場所・まちづくり発信の場」へ～**

### 1 新たな交流の拠点

「音楽のまち蒲郡」としての文化活動の拠点という枠組みに加え、市民の学習、交流施設として、多様な人が集い、ふれあい、活動する施設を目指す。

### 2 賑わいの創出の拠点

市民会館で得た経験や知識、人と人とのつながりを、自身の活動や地域で活かすことで市全体の活性化に寄与できる施設を目指す。

### 3 市民の居場所・まちづくりの拠点となる市民会館

「交流」・「賑わいの創出」の拠点となることでまちづくりの発信の場となり、また日常的に立ち寄れ、愛着のある、『いごこちのいい市民の居場所』となることを目指す。

## 第5章 目指すべき姿の実現に向けて

### 1 魅せる、触れる、楽しむ

近隣自治体に設置されているホールとの差別化を図り「音楽のまち蒲郡」にあった質の高い芸術音楽や芸能の鑑賞の場所とし、また、市民の日頃の練習成果や創作した作品の発表会など多様な文化・芸術を楽しむことができる場所にする。

### 2 学ぶ・創る・発信する

市民会館に生涯学習センターを新たに設置し、市民に多様な学習の機会を創出する。生涯学習センターが中心となり、地域・企業等と連携する取組を活性化させる役割を担ったり、市内の様々な講座などの情報を整理・集約し、市民に分かりやすく情報提供するなど、生涯学習推進のための新たな取組を実施する。

蒲郡駅に近いという立地を生かしつつ、学生や働き世代を含めた市民の学習や練習の場として、市民の文化活動・創作活動を支援するとともに、活動の成果を発表・発信する場を提供する。

### 3 憩う、つながる、育む

誰もが気軽に立ち寄ることができる市民の憩いの場所とし、学習や体験、芸術文化を通じて市民や生涯学習団体などが日常的に集い、つながり、世代や分野を超えた交流を育む場所にする。特に若い世代が音楽などを通じてつながりを持ち、交流し、活動や表現ができる場所とする。

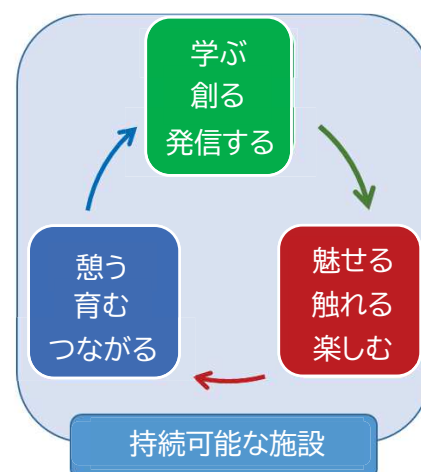
そして、その交流をさらに地域へ広げる活動を行うことで、まちと人を育む中心施設として愛着のある場所にする。継続的な学びを維持するために生涯学習センターが中心となって指導者の育成も行う。

### 4 1～3を支える持続可能な施設

貸館型の運営から、市民のニーズに応えるプログラムを提供する運営体制への強化とともに、多様な催し物を誘致するための民間企業等様々な団体へのアプローチ、連携を行う。また、予約管理システム・Wi-Fi等のデジタル環境を整備し、市民がより利用しやすい体制づくりを推進する。

施設については、規模の適正化や適切な維持保全により、利用者に安全で使いやすい施設とし、災害時においても、周辺地域の避難場所などとして活用できるような機能を検討する。

さらには、市民会館がまちの居場所・まちづくりの発信の場となるためには、より多機能化することが必要であると想定され、図書館などの他の社会教育施設が持つ機能や子育て・福祉などの関連機能等の施設との融合も視野に入れ検討を実施する。また、施設・機能の融合を検討する際、建替えや長寿命化など、最適な施設整備方法についても合わせて検討することで、「持続可能な施設」の構築を目指していく。





---

---

## 社会教育施設のあり方 「市民会館」将来ビジョン

発行・編集 蒲郡市教育委員会生涯学習課  
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17 番 17 号  
(蒲郡市生命の海科学館内)  
TEL : 0533-66-1167(直通)  
FAX : 0533-66-1199

---

---